

②Webページの概要を考える

「見やすさ」「伝えたい内容がより相手に伝わるように」・・・

- ・『いつ』『どこで』『だれが』『何を』『なぜ』『どのように』（5W1H）に注意して構想を練るように指示したい。
- ・各ページの統一感（文体・色・文字の数等）に注目するように指示する。
- ・どんな表現方法を用いるか（『レポート風』『物語（紙芝居）風』『クイズ形式』・・・e t c）考えるようにすると、生徒の工夫の幅が広がるだろう。

⇒Webページの見本があると分かりやすい

グループ企画書		
ホームページ（メニューページ） ファイル名 _____ .html	必要な工具 _____ のページ ファイル名 _____ .html	製作工程 _____ のページ ファイル名 _____ .html
① 担当 _____	② 担当 _____	③ 担当 _____

Webページの全体像を考える。

伝えたい内容をもとに、各ページの見出しをつけていく。

より効果的に伝えるために「考えたこと、考慮したこと、工夫したこと」

日付	考えたこと、考慮したこと、工夫した点
6 /	製作に必要な道具を見やすくするために、表にまとめて書く。また、それぞれの道具について写真を入れる。道具の使い方のポイントとなる部分は文字の色を赤くしたり、フォントを変えるなどして強調する。
/	
/	
/	
/	

どんなことに注意して製作するか、企画書(個人用)の面に記述する。

見る人に分かりやすく伝えるための工夫をできるだけ具体的に記述する。

制作途中で、新たな発想・工夫等が出てきた場合は、その都度、書き込んでいくようにする。 ⇒『⑤企画書に従ってWebページを制作する』参照